

第4章 事業概要

1. 検討委員会による会議開催とその経過

[検討委員]

川島孝一郎	(研究代表者)	一般社団法人 国際在宅医療研究会	代表理事
		仙台往診クリニック	院長／医師
伊藤道哉		東北大学大学院医学系研究科医療管理学分野	講師
小坂 健		東北大学大学院歯学研究科国際歯科保健学分野	教授／医師
西崎久純		仙台往診クリニック	／医師
武吉宏典		合資会社テディーズ・コンピュータ・サポート	社長
芳賀智子		仙台往診クリニック	／看護師・介護支援専門員

[事務局]

伊藤裕子		一般社団法人 国際在宅医療研究会	理事
千葉宏毅		仙台往診クリニック	研究部
熊坂陽太郎		一般社団法人国際在宅医療研究会	研究事務補助員
畠山倫史		一般社団法人国際在宅医療研究会	研究事務補助員／社会福祉士

[研究検討会議開催日および出席者数] 会議開催数 計 24回

第1回	平成23年	6月21日	(火)	6名
第2回		7月5日	(火)	6名
第3回		8月2日	(火)	7名
第4回		8月30日	(火)	9名
第5回		9月6日	(火)	9名
第6回		9月20日	(火)	10名
第7回		10月4日	(火)	7名
第8回		10月18日	(火)	9名
第9回		10月25日	(火)	7名
第10回		11月2日	(水)	8名
第11回		11月8日	(火)	8名
第12回		11月21日	(月)	6名
第13回		12月6日	(火)	9名
第14回		12月13日	(火)	7名
第15回	平成24年	1月10日	(火)	9名
第16回		1月24日	(火)	5名
第17回		1月31日	(火)	9名
第18回		2月9日	(木)	8名
第19回		2月16日	(木)	9名
第20回		2月29日	(水)	9名
第21回		3月14日	(水)	9名
第22回		3月19日	(月)	9名
第23回		3月23日	(金)	8名
第24回		3月26日	(月)	7名

2. 調査概要

1) 東日本大震災被災地における包括的医療・介護提供体制に関する調査

調査期間

平成 23 年 12 月 24 日～平成 24 年 1 月 20 日

調査範囲

岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県 (5 県)

調査票配布対象先

①在宅療養支援診療所 (悉皆)

796 ヶ所 [平成 23 年 8 月現在、各地方厚生局への届出受理医療機関名簿より]

②訪問看護ステーション (悉皆)

685 ヶ所 [平成 23 年 9 月現在、社団法人シルバーセンターサービス振興会介護サービス情報公表支援センター]

③臨床研修指定病院 (悉皆)

101 ヶ所 [平成 22 年 3 月現在、財団法人医療研修推進財団 PMET より]

④在宅療養支援病院 (悉皆)

35 ヶ所 [平成 22 年 10 月現在、各地方厚生局への届出受理医療機関名簿より]

⑤訪問介護事業所 (悉皆)

2,756 ヶ所 [平成 23 年 9 月現在、社団法人シルバーセンターサービス振興会介護サービス情報公表支援センター]

⑥居宅介護支援事業所 (悉皆)

3,681 ヶ所 [平成 23 年 9 月現在、社団法人シルバーセンターサービス振興会介護サービス情報公表支援センター]

調査宛先

各対象施設の施設長

調査手法

調査票郵送自計

調査内容

- ・震災にともなう被害状況と安全

(被害確認、安否確認方法、業務再開時期)

- ・ライフライン途絶中の様子

(ライフラインの復帰状況、ライフライン途絶中の患者・利用者への対応、人工呼吸器・酸素吸入器・たん吸引器を使用している重症者の対応、職員の通常外業務、職種別職員の職場復帰状況、支援者と被災地職員の連携・転轍)

- ・震災にともなう具体的な事例とその経験

(具体的困難事例の発生件数)

- ・原発事故の影響と今後

(周辺放射線量の認知、放射線の情報元、放射線の影響にともなう施設の対応、放射線の影響にともなう患者・利用者への対応、放射線汚染にともなう業務への影響、原発事故の責任所在)

- ・施設内の防災対策と意識

(震災前の備蓄体制、震災後の防災体制の見直し、震災後備蓄が必要と考えた物品、施設周辺で懸念される自然災害、地震・津波や原発事故が予想される地域での防災減災対策)

以下 在宅療養支援診療所のみ調査

- ・ 管理料等を算定患者数
- ・ 訪問診療を行った施設数
- ・ 退院時共同指導料 1 の算定
- ・ 在宅時医学総合管理料もしくは在宅末期医療総合診療料の割合
- ・ 診療情報提供書を発行した施設数
- ・ 連携をした訪問看護ステーション数
- ・ 連携をした調剤薬局数
- ・ 重度在宅患者の訪問するきっかけ
- ・ 重度在宅患者の今後の受け入れ
- ・ 在宅移行時の療養生活と医療・介護サービスに関する家族への説明時期
- ・ 施設内、施設外からの説明参加者
- ・ 説明にあたる時間
- ・ 医師又は看護師が出席したサービス担当者会議の回数
- ・ 在宅看取り数（在宅ターミナルケア加算算定、夜間、がん）
- ・ 施設属性

2) 大規模災害予測地域における包括的医療・介護提供体制に関する調査

調査期間

平成 23 年 2 月 27 日～平成 24 年 3 月 12 日

調査範囲

静岡県、愛知県、三重県、和歌山県、徳島県、高知県 (6 県)

調査票配布対象先

①在宅療養支援診療所 (悉皆)

1,337 ケ所 [平成 23 年 8 月現在、各地方厚生局への届出受理医療機関名簿より]

②訪問看護ステーション (悉皆)

743 ケ所 [平成 23 年 9 月現在、社団法人シルバーセンターサービス振興会介護サービス情報公表支援センター]

③臨床研修指定病院 (悉皆)

127 ケ所 [平成 22 年 3 月現在、財団法人医療研修推進財団 PMET より]

④在宅療養支援病院 (悉皆)

52 ケ所 [平成 22 年 10 月現在、各地方厚生局への届出受理医療機関名簿より]

⑤訪問介護事業所 (悉皆)

2,922 ケ所 [平成 23 年 9 月現在、社団法人シルバーセンターサービス振興会介護サービス情報公表支援センター]

⑥居宅介護支援事業所 (悉皆)

3,540 ケ所 [平成 23 年 9 月現在、社団法人シルバーセンターサービス振興会介護サービス情報公表支援センター]

調査宛先

各対象施設の施設長

調査手法

調査票郵送自計

東日本大震災にともなう被災状況資料および調査A中間集計の添付資料の発送

調査内容

- ・震災にともなう被害状況と安全

(被害の予測、安否確認方法、業務再開時期の予測)

- ・ライフライン途絶中の対応

(ライフライン途絶中の患者・利用者への対応〔推測〕、人工呼吸器・酸素吸入器・たん吸引器を使用している重症者の対応〔推測〕、職員の通常外業務の範囲〔推測〕、支援者と被災地職員との連携等〔推測〕)

- ・震災にともなう予測される具体的事例

- ・原発事故の影響と今後

(周辺放射線量の認知、放射線の情報元、放射線の影響にともなう施設の対応〔推測〕、放射線の影響にともなう患者・利用者への対応〔推測〕、放射線汚染にともなう業務への影響〔推測〕、原発事故の責任所在)

- ・施設内の防災対策と意識

(震災前の備蓄体制、震災後の防災体制の見直し、施設周辺で懸念される自然災害、地震・津波や原発事故が予想される地域での防災減災対策)

以下、在宅療養支援診療所のみ調査

- ・ 管理料等を算定患者数
- ・ 訪問診療を行った施設数
- ・ 退院時共同指導料 1 の算定
- ・ 在宅時医学総合管理料もしくは在宅末期医療総合診療料の割合
- ・ 診療情報提供書を発行した施設数
- ・ 連携をした訪問看護ステーション数
- ・ 連携をした調剤薬局数
- ・ 重度在宅患者の訪問するきっかけ
- ・ 重度在宅患者の今後の受け入れ
- ・ 在宅移行時の療養生活と医療・介護サービスに関する家族への説明時期
- ・ 施設内、施設外からの説明参加者
- ・ 説明にあたる時間
- ・ 医師又は看護師が出席したサービス担当者会議の回数
- ・ 在宅看取り数（在宅ターミナルケア加算算定、夜間、がん）
- ・ 施設属性

3) 在宅療養支援診療所の施設体制に関する基礎調査

調査期間

平成 23 年 12 月 24 日～平成 24 年 1 月 20 日

調査範囲

調査 A (岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県)、および調査 B (静岡県、愛知県、三重県、和歌山県、徳島県、高知県) 以外の都道府県における在宅療養支援診療所

調査票配布対象先

①在宅療養支援診療所 (悉皆)

10,731 ヶ所 [平成 23 年 8 月現在、各地方厚生局への届出受理医療機関名簿より]

調査宛先

各対象施設の施設長

調査手法

調査票郵送自計

調査内容

- ・管理料等を算定患者数
- ・訪問診療を行った施設数
- ・退院時共同指導料 1 の算定
- ・在宅時医学総合管理料もしくは在宅末期医療総合診療料の割合
- ・診療情報提供書を発行した施設数
- ・連携をした訪問看護ステーション数

- ・連携をした調剤薬局数
- ・重度在宅患者の訪問するきっかけ
- ・重度在宅患者の今後の受け入れ
- ・在宅移行時の療養生活と医療・介護サービスに関する家族への説明時期
- ・施設内、施設外からの説明参加者
- ・説明にあたる時間
- ・医師又は看護師が出席したサービス担当者会議の回数
- ・在宅看取り数（在宅ターミナルケア加算算定、夜間、がん）
- ・施設属性

3. 事業実施の委託

東北大学大学院医学系研究科医療管理学分野に、調査・調査票の設計、調査データの解析方法、調査結果の集計・分析、調査結果の解釈に関し、その一部を委託した。